



日本を好きになってもらいたい

英語で日本を案内したい！ 通訳ガイドをしてみたい！ そのような夢を持たれている人は多いのではないのでしょうか？

海外からの観光旅行者、仕事で日本を訪れる外国人ビジネスマン、交換留学生など訪日外国人は年々増加しています。これから、ますます世界共通語の英語で日本を案内する機会が増えるでしょう。日本を訪れる外国人の憧れる街の一つが古都京都です。

それでは、どのように外人観光客等を京都にご案内すればよいのでしょうか？

私は通訳ガイド国家試験に合格し旅行社に就職面接に行く前は、旅行社が「観光地、寺社仏閣の英語案内」の虎の巻を持っていると思っていました。しかし、これらの虎の巻を持つ旅行社は一つもありませんでした。数々の通訳ガイドの研修会等に参加し、自分で通訳ガイドの英語マニュアルを作らなければならないことを知りました。

それから、寺社仏閣の英会話の本を探しまくりました。書き言葉の堅苦しい観光地案内の英語の本は市販されているのですが、話し言葉調の本、つまり「中上級者向けの京都案内の英会話本」は残念ながら1冊もありませんでした。

そこで日本語の京都のガイドブックと外国人の書いた京都のガイドブックを買い占め、マニュアルを作りました。しかし、それは生きたガイドのマニュアルではありませんでした。

初めて外国人観光客をガイドしたときには、自分の知識の貧弱さにショックを受けました。系統立てて話そうとしても、曖昧にしか話せないのです。また、自分はお客様を楽しませる才能がないのかな、などと悩んだこともありました。

例えば仏像についての本を何冊も読み、暗記しましたが、実際、外国人観光客は長ったらしい難しい説明など期待していないことのほうが多かったのです。

通訳ガイドとして、必要とされる歴史や地理の知識は身に付けなければなりません。日本の歴史上の人物や年代、寺社仏閣の歴史を覚えて一方的に話しても、観光客は退屈してしまうということも実体験から学びました。観光客を楽しませるテクニックが必要です。どうすれば、海外からの観光客に楽しんでいただけるのだろうか？ 本書にはそのような情報が豊富に盛り込まれています。

例えばあるお寺の月見台で満月のお月見について“*We wait for the full moon and then enjoy moon viewing.*”と説明しました。すると観光客から「アメリカでは満月は城、狼の遠吠えと犯罪に結びつけて考えられます」と言われ、文化の違いに驚きました。

外国人観光客は、歴史上の年代等の説明よりも、「武士の腹切り」、「日本人と西洋人の龍に対する見方の違い」、「日本の満月と西洋の満月の違い」、「鏡餅の上りにりごではなく、みかんが置かれているわけ」、「七五三が縁起の良い数字である理由」の説明に喜ぶ人のほうが多いです。もちろん、幅広い歴史的知識も必要とされるので、きちんと勉強してください。

通訳ガイドの国家試験の合格率は近年とても高くなり、2009年には20パーセントまで上がりました。本書はすでに通訳ガイドの資格をお持ちの方の虎の巻であるだけでなく、通訳ガイドの国家試験合格を目指す方にもお使いいただけます。最近では国家試験には寺社仏閣のこともよく出題されるようになりました。本書で勉強して合格を勝ち取りましょう。

国家試験に興味がない方も、ボランティアでガイドをすることによって京都のよさを外国人観光客にお伝えする機会があることでしょう。本書でガイディングの方法を勉強し、実践していただければと思います。

本書は私の9年間の通訳ガイド生活の実況中継本です。寺社仏閣についてだけでなく日本のgeneral topic（一般的な話題）をどのように結びつけてガイドをすれば、外国人観光客に喜んでいただけるか、本書では十分に学んでいただけることと思います。

またこのgeneral topicは往復のバスなどの交通機関の中でもお使いいただけます。

観光客から質問される前にガイディングをすることも大切ですが、会話のキャッチボールも必要です。練習しやすいように、本書では通訳ガイドと外国人観光客の二者間の会話設定にしています。またナレーションはアメリカ人とイギリス人によって収録されていますので、発音の違いも学んでいただけます。

本書を書き終え、日本語を読むだけでも楽しい本を書き上げることができたと自負しております。ですから、英語の初心者レベルの人や英語学習が目的でない人にも、本書を読んで楽しんでいただけるのではと思います。

また本書をこの世に出すにあたって寺社仏閣の管理事務所の方々に、知識、情報の確認、校正にいたるまで大変お世話になりましたことを心より感謝申し上げます。皆様の温かい励ましと優しさのおかげで念願の1冊が元気な産声をあげることができました。

読者の皆さん、もっと日本について勉強しましょう。もっと外国人観光客のことを理解し、そして日本を理解していただけるように努力しましょう。

そして、もっともっと日本を好きになりましょう。

2009年10月吉日 著者 柴山かつの

読者対象

- (1) プロの通訳ガイド
- (2) 通訳ガイド国家試験受験者
- (3) 地域や大学の通訳ガイドクラブやサークル
- (4) 中上級の英語学習者
- (5) 企業で英語を使う社員
- (6) 日本のことを学びたい外国人



目次

はじめに ... 002

本書の使い方 ... 007

日本事象の索引 ... 008

京都について 押さえておきたい基本の知識 22 ... 010

通訳ガイドの基礎英語 ... 014

通訳ガイドの心得ラッキー 8 ... 016

Chapter 1 平安神宮 ... 018

Chapter 2 金閣寺 ... 052

Chapter 3 龍安寺 ... 076

Chapter 4 二条城 ... 098

Chapter 5 三十三間堂 ... 134

Chapter 6 清水寺 ... 160

Chapter 7 地主神社 ... 198

Chapter 8 銀閣寺 ... 214

Chapter 9 伏見稻荷大社 ... 236

Chapter 10 天龍寺 ... 262

あなたもオリジナルの
ツアーを作りませんか? ... 289

下賀茂神社

上賀茂神社

北野天満宮

東寺

付録 仏像の種類 ... 298

英文校正 ポール・ドーリー
編集協力 松本 静子
カバーデザイン・本文レイアウト 森村 直美 (クリエイターズ・ユニオン)
本文写真 日路井 大介
イラスト 板垣 真誠
DTP 朝日メディアインターナショナル
ナレーター クリス・コブロウスキー ナディア・マッケクニー ジョシュ・ケラー
CD収録・編集 ELEC 録音スタジオ

写真協力
日路井 大介
Tomo.Yun
fotolia (<http://jp.fotolia.com>)
Photolibrary (<http://www.photolibrary.jp>)

●●● 本書の使い方 ●●●

● 本書の構成

全10章からなり、各章は以下の5つのパートから成り立っています。

- ①英文ダイアログ
- ②ダイアログの日本語訳
- ③単語の小箱
- ④瞬間英作文
- ⑤玉虫の宝庫
 - 1. 見学の手順
 - 2. 現役ガイドからのアドバイス
 - 3. 通訳ガイド体験日記
 - 4. ガイド英語 Q&A
 - 5. 日本事象をチェック!

●●● 効果的な学習法 ●●●

本書の①英文ダイアログは、通訳ガイドと外国人プライベート観光客との会話で成り立っています。

①英文ダイアログに入る前に、④瞬間英作文を学習してもよいでしょう。左下のヒントを使い英作文にチャレンジすると、本文のダイアログが理解しやすくなります。

それから、③単語の小箱をチェックし、②ダイアログの日本語訳から①英文ダイアログに訳せるようになりましょう。

⑤玉虫の宝庫は情報満載のコラムです。

1. 見学の手順では寺社仏閣の観光する場所の情報を日本語で復習します。
2. 現役ガイドからのアドバイスで、①英文ダイアログがもっとすんなりと頭の中に入ってくるようになります。
3. 通訳ガイド体験日記では、失敗談などが正直に語られているのでとても参考になります。
4. ガイド英語 Q&A では、質問形式になっていますので、これってどうしてこんな言い方をするの？ なぜこんな表現が生まれたの？ これって書き言葉だったの？ etc を自然に学んでいただけます。
5. 日本事象をチェック! では、その章で出てきた日本事象が一目で見られます。すべて説明できるようになりましょう。

平安神宮の創建された理由、
祀^{まつ}られている桓武天皇と孝明天皇、神道について

In the taxi

G: 通訳ガイド T: 観光客

G: Today's a perfect day for sightseeing! I'd like to explain a little about the Heian Shrine. "Heian" literally means "Peace and **Tranquility**."

T: The name **has a nice ring to** it. Please go on.

G: Well, let me talk about the history of Japan a little bit. In 794, the "Heian Capital" **was established** by Emperor Kanmu. Emperor Kanmu **contributed to** the development of the country by **amending** laws and encouraging learning. The city of Kyoto **looked back on** Emperor Kanmu's achievements and respected him as the ancestral god of Kyoto. Kyoto's citizens thought, "If Emperor Kanmu hadn't established the Heian Capital, the present Kyoto wouldn't exist", and so they decided to **enshrine** Emperor Kanmu. The Heian Shrine was built in 1895 **in commemoration of** the 1,100th anniversary of the foundation of "Heian Capital." This shrine **is dedicated** not only **to** Emperor Kanmu but also **to** Emperor Komei who was the last reigning emperor in Kyoto. Emperor Komei was enshrined in 1940.

T: What was Emperor Komei like?

G: Komei was the emperor who **laid the foundation** of modern Japan. He was enshrined when state Shintoism and nationalism were **at their height**.

T: It sounds complicated. Shrines are Shinto, right? Could you tell me about Shinto?

G: Shinto is the **indigenous** religion of Japan. It's based on nature worship. Shinto is a **polytheistic** religion, and its gods are worshipped at shrines. It doesn't have a **founder** or any **scriptures**.

タクシーの中で

G: 今日は観光するには最高のお天気ですね！ 平安神宮について少し説明させてください。「平安」は「平和と穏やかさ」を意味します。

T: この名前は響きがいいですね。どうぞ続けてください。

G: ええ、日本の歴史について少し説明させてください。794年に平安京は桓武天皇によって開かれました。桓武天皇は、法律を改正すること、学問を奨励することなどによって国の発展に尽くしました。京都市は桓武天皇の業績を振り返り、京都の先祖神として尊敬しました。京都の住民は思いました。「桓武天皇が平安京を開いてくださらなかったら、今日の京都は存在しなかっただろう」と。それから、桓武天皇を京都の神様としてお祀りすることを決定しました。そして平安神宮は1895年に、平安京遷都1,100周年記念として創建されました。この神社には桓武天皇だけでなく、京都の最後の統治者であり、日本の近代化に貢献した孝明天皇も奉^{ほうし}祀されています。孝明天皇は1940年にお祀りされました。

T: 孝明天皇はどんな人だったのですか？

G: 孝明天皇は近代日本の土台を築いた方です。神道と国粋主義の絶頂期に祀られました。

T: 複雑ですね。神社は神道に属するのですよね？ 神道について教えてください。

G: 神道は日本固有の宗教です。自然崇拝を基本にしています。神道は多神教で、神々は神社で祀られています。創始者もいなければ経典もありません。

単語の宝箱

tranquility 穏やかさ have a nice ring to ... …の響きがよい

be established 創立される contribute to ... …に貢献する

amend 修正する look back on 振り返る enshrine 祀る

in commemoration of ... …を記念して be dedicated to ... …を祀る

lay the foundation 基礎を築く at one's height 最盛期の

indigenous 固有の polytheistic 多神教の founder 設立者 scripture 経典